

安全データシート

改定日 2023 年 4 月 14 日

1. 化学品及び会社情報

【化学品の名称】

製品名 サルボコール 50
会社名 西日本薬業株式会社
住所 愛媛県松山市南吉田町 2 1 8 6 番地 1
電話番号 089-965-3600
FAX 番号 089-965-3601
メールアドレス info-labo@nisiyaku.co.jp
推奨用途及び
使用上の制限 食品、製造器具等の除菌洗浄及び食品の鮮度保持
作成年月日 2010 年 12 月 16 日

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 区分 2B
生殖毒性 区分 1A
特定標的臓器毒性(単回暴露) 区分 3(気道性刺激、麻醉性)
特定標的臓器毒性(反復暴露) 区分 1(肝臓)、区分 2(神経)

(注)記載なき GHS 分類区分：区分に該当しない/分類できない

環境に対する有害性 区分に該当しない/分類できない

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

全体的な危険性：無色透明な液体。蒸発するときに可燃性の刺激性ガス、毒ガスが発生する。

有害性：蒸気を吸入すると眼、気道の刺激を引き起こすことがあり、繰り返しさらされた場合、粘膜への刺激、めまい、感覚鈍麻、頭痛、疲労感などを起こすことがある。

妊娠中に継続して摂取すると、胎児に有害影響が及ぶことがある。長期にわたる摂取は肝硬変を引き起こすことがある。

注意書き

使用前に以下の全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

必要に応じて個人用保護具を使用すること。

この製品を使用するとき飲食又は喫煙しないこと。

取扱い後は手をよく洗うこと。

屋外または換気の良い場所で使用すること。

蒸気/ミスト/スプレーを吸入しないこと。

容器を密栓して換気の良いところに保管すること。

子供の手の届かないように保管すること。

3. 組成・成分情報

物質の特定 : 混合物

組成

含有成分	化学式	化審法番号	安衛法番号	CASNo.	重量比
エチルアルコール	CH ₃ CH ₂ OH	2-202	既存	64-17-5	51.5%
グリセリン	C ₃ H ₈ O ₃	2-242	既存	56-81-5	0.2%
乳酸	C ₃ H ₆ O ₃	2-1369	既存	50-21-5	0.2%

上記組成に精製水を含む

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静にする。気分が悪い時は医師に連絡すること。
- 目に入った場合 : 豊富な清浄水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、洗浄を続けること。目の刺激が持続する場合は、医師の診断および手当を受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚刺激があれば、医師の診断および手当を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 速やかに口をすすぎ、医師の診断を受けること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水、粉末、炭酸ガス、耐アルコール泡が有効
- 使ってはならない消火剤 : 棒状注水
- 消火方法 : 初期の火災には、大量の水噴霧、又は粉末、炭酸ガス等の消火器による消火を行う。大規模の火災には耐アルコール泡、水を噴霧する。容器を冷却する。又延焼を防止するため、周辺にも水を噴霧する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置 : 全ての着火源を取り除く。直ちに全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外の立ち入りを禁止する。
漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
- 環境に対する注意事項
回収、中和 : 河川等に排出され、環境へ影響を起ささないよう注意する。
: 不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で流出物を吸収して、化学
品廃棄容器に入れる。
漏出が大量の場合散水は蒸気濃度を低下させるが、密閉された
場所では燃焼を抑えることが出来ない恐れがある。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : 危険でなければ漏れを止める。
漏出物を取扱う際に用いる全ての設備は接地する。
蒸気抑制泡は蒸気濃度を低下させるために用いる。
- 二次災害の防止策 : 全ての発火源を速やかに取除く。(近傍での喫煙、火花や火炎の
禁止)
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い: みだりに火気その他点火源となる恐れのあるものに接近させ若しくは注ぎ、蒸発させ、又は加熱しないこと。

目・皮膚・衣服に漏らさないこと。取扱終了後は(手等は)よく洗うこと。空の容器は潰したり、切ったり、加熱したり又は溶接したりしない。

作業中に温度が上がってきたら、蒸発する蒸気や匂いを避けるために適切な換気の準備をする。

取り扱う設備のある場所を常に整理整頓し、その場所に可燃性のもの又は酸化性のものを置かない。

保管: 火気その他危険な場所から遠ざけ通風をよくし温度、湿度、遮光に注意し、冷暗所に保管する。

容器の蓋は閉めておく。

直射日光の当たる場所には保存しないこと。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策: 換気が必要である。

取扱いについては、火気のない換気のよいところで行う。

管理温度: 規定なし

許容濃度: エタノールにおいて

ACGIH-TLV TWA1000mg/m³

OSHA-PEL TWA1,000ppm(1,880mg/m³)

保護具: 通常はゴム手袋、ゴム前掛、安全靴を着用する。高濃度の場所ではゴム手袋、ゴム前掛、安全靴、保護眼鏡、保護マスクを着用する。

作業衣: 帯電防止衣服を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観等: 無色透明な液体で特有の芳香とやけるような味を持つ。

pH: 該当せず

溶解度: 水、エーテルによく溶ける

沸点、融点: データなし

引火点、自然発火温度: データなし

燃焼又は爆発範囲の上限、下限: データなし

蒸気圧、蒸気密度: データなし

比重(相対密度): データなし

10. 安定性及び反応性

安定性: 通常の手扱い条件においては安定であり、危険有害な分解生成物は発生しない。

11. 有害性情報

急性毒性 ・服用 ヒト: LD₅₀ 2.340mg/kg 行動、胃腸(吐気)

・服用 ラット: LD₅₀ 11.790mg/kg 呼吸器系

皮膚刺激性: 区分外

眼に対する重篤な損傷性又は目刺激性

・目 標値：167mg/24h 症状(中度)

呼吸器感作性又は皮膚感作性：情報なし

生殖細胞変異原性：情報なし

発がん性：明確な発がん性は示されていない。

生殖毒性：一定量以上の飲酒による流産や胎児性アルコール症候群などのヒト胎児に対する悪影響が多数報告されている。ヒトに対するエタノールの生殖毒性のおそれ(区分 1A)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：ヒトでエタノールの経口摂取により中枢神経系に急性中毒作用を及ぼし、大量摂取した場合には反射低下、呼吸または循環器不全などを及ぼし、場合によっては死に至る事がある。

麻酔作用(区分 3) 気道刺激性(区分 3)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：ヒトでアルコールの長期大量摂取によりほとんど全ての器官に障害を起こすが、最も悪影響を与える標的臓器は肝臓である。障害は脂肪変性に始まり、壊死と線維化を経て肝硬変に至る。区分 1(肝臓)

アルコール中毒患者の禁断症状(振戦症状、てんかん、精神錯乱) 区分 2(中枢神経系)

誤えん有害性：情報なし

注) 上記のデータはアルコール 100%の場合の情報から計算上求められたものです。

12. 環境影響情報

残留性/分解性	データなし
生態毒性	データなし
生物蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

- ・ 残余廃棄物については燃焼炉の火室へ噴霧し、焼却する。
- ・ 使用後の容器又は配管等を廃棄処分する時は、内容物を水洗してから処理する
- ・ 取扱い及び保管上の注意の項の記載による他、引火性液体に関する一般的な注意事項による。

14. 輸送上の注意

- ・ 取扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法により第 1 類及び第 6 類との混載を禁止。
- ・ 運搬に際しては、容器に漏れのないことを確かめて、転倒、落下、損傷のないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
- ・ その他、適用法令の定めるところに従う。

国際規制 海上規制情報 : IMO の規定に従う。

UN No. : 1170

Proper Shipping Name : ETHANOL

Class : 3

Packing Group : II

Marine Pollutant : Not Applicable

航空規制情報 : ICAO・IATA の規定に従う。

UN No. : 1170

Proper Shipping Name : Ethanol

Class : 3
Packing Group : II

15. 適用法令

- ・食品衛生法 : 食品添加物
 - ・労働安全衛生法 : 危険物 該当せず
: 通知対象物質 政令番号第 61 号 エタノール
 - ・消防法 : 危険物 該当せず
 - ・危険物船舶運送及び貯蔵規則 : 該当せず
-

16. その他の情報

【参考文献】

財団法人バインダストリー協会 : アルコールハンドブック
社団法人日本化学会編 : 化学便覧

化学工業日報社 : 14504 の化学商品
化学工業日報社 : 国際化学物質安全カード(ICSC)日本語版
独立行政法人製品評価技術基盤機構 <http://www.nite.go.jp/>
安全衛生情報センター <http://www.jaish.gr.jp/index.html>

【注意】

- ・この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
- ・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。
- ・注意事項は通常の実施を前提としたものですが、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。
- ・すべての化学品には未知の有害性がある得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定して頂きますようお願い申し上げます。